

REIMEI

～一般社団法人 日本PVプランナー協会会報誌～ Vol.16 秋号



表紙写真提供
(株)ジャスパー
未来環境エネルギー計画(株)
原建設建材(株)

CONTENTS

・特集/太陽光発電所を取り巻く状況

- ・2020年度概算要求の注目ポイント!
- ・地区会レポート/RE・SDGsから始まる需要家向け自家消費を主題に熊本・仙台・神戸・名古屋にて各地区会を開催致しました
- ・視察会レポート/震災から8年…福島県の今を視てきました
- ・日本PVプランナー協会が「かながわSDGsパートナー」に登録されました
- ・会員企業訪問/ミナト電気(株) アソシエイトエナジー(株) (株)エコロステーション
- ・PVネットワーク/(一社)太陽光発電協会(JPEA)
- ・賛助会員企業訪問/マテリアルエード(株)

災害に強いまちづくりに貢献したい

一般社団法人日本PVプランナー協会 理事長 池田真樹

いつも当協会の活動にご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。
先日の千葉へ上陸した台風15号の被害は当初の予想を遥かに超え、甚大なものとなりました。昨年の関西への台風上陸、その前の西日本豪雨など、雨や風における被害の大きさは年々拡大するばかりです。地震ではない天災で、まさか千葉の地において一週間以上もの停電が続くなど、誰が予測できたでしょうか。一方でPVや蓄電



池システムの非常時の有効性に関しても、徐々にではありますが情報が集まってまいりました。
刻々と悪化していくこの地球環境の中で、日頃からわれわれが訴えている地域や住宅単位での独立したエネルギー供給の在り方に関し、今後ますます加速していくことが予想されます。
われわれは今回のような過去の経験では推し量れない強大な風や途轍もない雨量にも耐えうるしっかりとした設計、施工を今まで以上に心がけ、再エネを利用した災害に強いまちづくりに貢献していきたいと思ひます。

一般社団法人 日本PVプランナー協会 理念

私たちは、PV プランナー・PV システムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には

- 1、私たちは「地球環境問題」の解決に取り組みます。
- 1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
- 1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
- 1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
- 1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

■第7回全国会員大会 開催のご案内■

今年も毎年恒例の全国会員大会を下記の通り開催いたします。皆様で多用中とは存じますが、ぜひご参加ください。

開催日時 2019年11月15日(金) 13:00～17:15 ※情報交換会 17:30～19:00
会場 シンダックスカルチャーホール 8F 東京都渋谷区神南1-12-10

〔当日プログラム〕

- | | | | |
|-------|--|-------|---|
| 13:00 | 開会～挨拶～表彰式 | 15:45 | パネルディスカッション
『RE100から始まった自家消費太陽光発電の進め方～会員事例集発表』
〔モデレーター〕
馬上丈司(当協会顧問)
〔パネラー〕
協会員企業数社 |
| 14:00 | 基調講演Ⅰ
『再エネ主力電源化のため「FIT以外の価値」を後押しする政策について』
経済産業省 資源エネルギー庁
新エネルギー課 課長 清水淳太郎氏 | 17:15 | 閉会～写真撮影 |
| 14:45 | 基調講演Ⅱ
『PV Outlook 2050 これからの日本のエネルギーを支える太陽光発電』
(一社)太陽光発電協会(JPEA)
ビジョン部会 部会長 杉本完蔵氏 | 17:30 | 情報交換会
(渋谷東武ホテル) |



事務局だより

今年の7月から当協会にお世話になることになりました佐野と申します。前職では、太陽光の産業用の営業を主に担当しておりました。案件の内容にもよりますが、設計や施工管理も担当しておりました。主な案件は、学校、幼稚園、保育園、総合福祉センター等の公共案件と工場、倉庫などもありました。過去の経験を生かして、協会の発展に少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、今回は、自分の育った町の話をしたいと思ひます。私の母が生まれたとき(昭和5年)の住所は、東京府南葛飾郡隅田村でした(実家を相続

するときに戸籍謄本で知りました)。今は、ご存知のとおり、東京都墨田区になります。昭和5年当時は、東京市には入っていませんでした。しかし、今となつては、東京スカイツリーができて自慢の故郷となりました。伝統と歴史、発展する未来。再生可能エネルギーがもたらす未来も楽しみですね。



佐野

お問い合わせは…



一般社団法人 日本PVプランナー協会

〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3-7-18
日総第18ビル 715号室
TEL:045-594-8015/FAX:045-594-8016
Web <http://pv-planner.jp>
Mail otoiawase@pv-planner.jp

制作・編集:(株)電設出版

SHIN EI

太陽光発電メンテナンス測定器

ストリングの不良診断



新製品

PVレジスタンスチェッカ

PVR-1000

測定
1秒!

定価 ¥138,000 (税別)



内部抵抗値でストリング診断

正常				不良初期				発電異常			
No	Lo	Hi	Co	No	Lo	Hi	Co	No	Lo	Hi	Co
A002	57	266.7	10	A003	10	266.4	10	A004	567	265.4	10
A003	10	266.4	10	A004	10	266.5	10	B001	567	265.4	10
A004	10	266.4	10	B001	10	266.5	10	B002	567	265.4	10

※判定値は変更できます。開放電圧は、カラー判定しません。

NO-GO
判定

2000件
保存

USB
管理

650g

モジュールの性能診断



I-Vカーブトレサ

IVH-2000Z

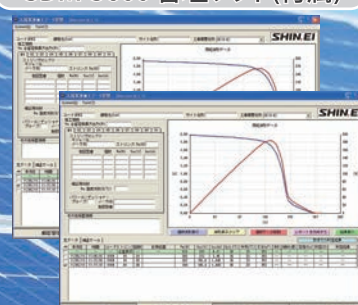
測定
1秒!

定価 ¥450,000 (税別)

I-V 比較測定



SDM-3600 管理ソフト(付属)



I-V
カーブ

解析
ソフト

日射計
付属品

1.4kg

日射・温度計(付属)

新栄電子計測器株式会社

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2636
TEL 0466-88-3030 FAX 0466-87-0627

SHIN EI

<http://www.shin-ei.ne.jp>

2020年度概算要求の 注目ポイント! (太陽光発電注目の概算要求)

(1) 経済産業省概算要求(太陽光発電関連抽出)

経済産業省政策の重点(案)として新たな成長モデルの創出→日本経済の土台となるエネルギー安全保障の強化が提案され、さらにその中に「エネルギー転換・脱炭素化(FIT制度の抜本的見直し)」があります。このFIT制度の抜本的見直しでは、各電源の特性や現状を見極めながら、さらなるコストダウンや長期安定電源化、安全性の性能向上を図ることに全力で取り組むように対応した概算要求(太陽光関連)が以下の内容となっています。

●エネルギー転換・脱炭素化～FIT制度の抜本見直し等含む(紙面の都合から一部抜粋)

- ①「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業補助金」(昨年68.5億) 70億円
- ②「太陽光発電の導入可能量拡大に向けた技術開発事業」(新規事業) 40億円
- ③「地域の系統線を活用したエネルギー面的利用事業補助金」(新規事業) 21億円
- ④「再生可能エネルギーの導入促進のための高度な配電安定化制御技術の構築実証等事業」(新規事業) 6億円
- ⑤「クリーンエネルギー分野における革新的技術の国際共同研究開発事業」(新規事業) 15億円

(2) 環境省概算要求(太陽光発電関連抽出)

第5次環境基本計画の3年目に向けて「環境・経済・社会的課題の同時解決」と「地域循環型共生圏の創造」を骨格とし太陽光発電関連では、導入促進・CO₂削減・地域主導支援・金融等の普及促進につながる概算要求となっている。

- ①「再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業」 50億円
→自家消費型・地産池消型再生可能エネルギーの自立的な普及を支援
- ②「再エネ主力化に向けた需要側の運転制御施設導入促進事業」 75億円
→変動性再エネ(太陽光・風力等)の主力電源化にむけ、需要家側の運転制御可能な省CO₂型需要側設備等への支援
- ③「脱炭素イノベーションによる地域循環型共生圏構築事業」 96.5億円
→脱炭素型地域作りモデル形成事業、地域の自立・分散型エネルギーシステムの構築、地域の脱炭素交通モデルの構築
→地域の自立・分散型エネルギーシステムの構築事業
→地域の脱炭素交通モデルの構築事業
- ④地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業 116億円
→公共施設(避難施設、防災拠点等)に防災・減災に資する再生可能エネルギー設備
- ⑤未利用エネルギー活用施設並びにそれら付帯設備(蓄電池・自営線等)を導入する事業
→民間施設(避難施設、物資供給拠点等)に防災・減災に資する再生可能エネルギー設備
→未利用エネルギー活用施設、蓄電池等を導入する事業
- ⑥SBT・再エネ100%目標推進事業 2.4億円
→SBT・再エネ100%目標推進事業、中小企業版SBT・再エネ100%目標推進・中小企業向CO₂削減環境経営体制構築支援
- ⑦ESG金融ステップアップ・プログラム推進事業 3億円
- ⑧地域脱炭素投資促進ファンド事業～採算性・収益性が見込まれる低炭素化プロジェクト出資により支援 48億円

われわれ太陽光発電の施工・販売事業社は経産省の補助金に目が向いていましたが、昨年度あたりから、脱炭素～自家消費や蓄電池の普及における補助金は環境省からも多く出ており、2020年度の概算要求ではさらに色濃くなっていると感じます。あくまでも概算要求ですので、今後の推移を見ながら会員の皆様には詳細な情報をお伝えしていけるようにしたいと考えています。

また、11月15日渋谷開催の第7回全国会員大会では基調講演として、経済産業省新エネルギー課 清水課長にご登壇いただき、FITの抜本見直しにおける新たな政策をこの時点でお話いただける限り、お話しさせていただく予定です。

太陽光発電所を取り巻く状況

一般社団法人 太陽光発電協会 政策推進部長 長峯 卓氏

地域内インフラとしての太陽光発電

昨年は北海道のブラックアウト、今年は台風15号による千葉県内における長期停電と、災害と停電がリンクして繰り返される中で、本来はこれだけ普及が進んだ太陽光発電は、レジリエンスの旗手として脚光を浴びるべきところ、どうも、そううまくは行かないようです。

戸建て住宅設置のPVの自立運転や蓄電池併設で、停電期間も家電製品を利用できて助かったとの声は確かにあります。特にEV（電気自動車）によるV2Hでは、停電期間も通常の生活を送ったという事例もあるようです。これらの自家消費システムは、住宅だけでなく事業者も含め（特に事業所建屋の屋根設置）大きく成長させてゆくべき分野だと思います。

ところで、自立運転があっても利用方法がわからなかったというお客様がいらっしゃいます。年一回くらい、自立用コンセントや自立運転への切り替え手順等を確認いただくよう、ぜひお勧めください（表1）。緊急時に困らないためには、何事によらず、平時の訓練が大切です。

自家消費の拡大でも宿題は多いわけですが、視野をもう少し広げ、自宅からその地域、と見ていくと（これは太陽光発電所の責任ばかりではありませんが）、災害に強い街とはなかなかいいにくい状況があるように思います。せっかく地域内に設置された太陽光発電所が、系統の停電とともに停止したままではもったいない。これは自治体を含め、地域住民の皆さんにかなり強く共有された思いではないかと感じます。

設置場所を見つけて発電所を造るだけではない、その地域、域内インフラとの有機的なリンクを持てる発電所計画は、もちろん、発電事業者側だけの努力で計画できるものではありませんが、そのようなシス

テムを検討できることが、太陽光発電に関する事業者の強みとなる時代が来ていると思っています。

われわれの発電所は安全か？

家が倒壊し、屋根が飛び被害の中で太陽光発電所だけが無傷でいることはできませんが、いち早くアレイが倒壊し、モジュールが近隣へ飛んで行くようでは、そもそも話になりません。また、大雨等での災害が心配される地域の真ただ中に発電所があるという状況も望ましくはありません（発電所開発が土砂災害の原因だといわれるようでは論外です）。

太陽光発電所の「安全」に対する、社会的な要請は、これから加速度的に強くなるように見えます。特に、数の多い地上設置の低圧設備の安全確認を求める声は、まだまだ強くなると思います。

適切に設計・施工された発電所でも、保守が行われないとその価値が棄損します。発電能力の維持も大切ですが、設備の電氣的、構造・強度的な「安全」を維持するための保守点検と考えれば、その重要性は明らかです。嫌ないい方ですが、万一モジュールが飛散して近隣に人的物的被害があれば、それは大変なことですし、同時に事業への影響も計り知れません。

発電所の価値・発電所の流通

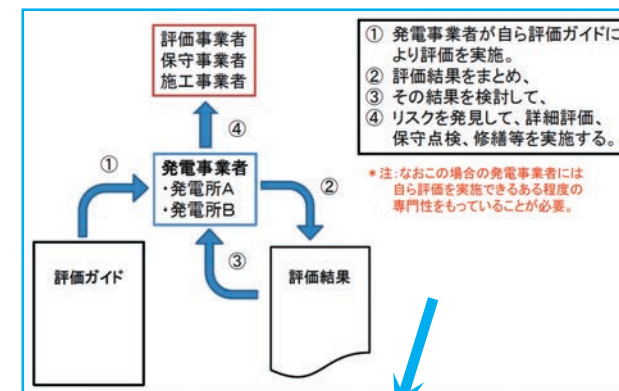
安定した敷地に設置され、十分な設計強度の基礎・架台を持ち、適切な発電量が安定して得られる発電所の価値が高いのは当然です（「太陽光発電事業の評価ガイド」http://www.jpea.gr.jp/topics/hyouka_guide.htmlを見ていただくと、これらの項目以外にも、法令手続きの抜けほか、多くの評価項目があり、事業全体の「リスクの見える化」を行うことができます）。また、その初期性能が保守により維持されていることも前述の通り大切で、このような設置後の運用の適否が発電所の価値を大きく変えることは、これからますます、業界の中で共有される考え方になりますし、また、そうなるべきだと思っています。

1. 太陽光発電パワーコンディショナーの「自立運転用コンセント」の場所を確認する
 2. 取扱い説明書で「自立運転モード」への切り替え方法を確認する
 3. 分電盤の「主電源ブレーカー」をオフにする
 4. 分電盤とパワーコンディショナーの間に設置した「太陽光発電ブレーカー」をオフにする
 5. 取扱い説明書に従い「自立運転モード」に切り替える
 6. 太陽光発電パワーコンディショナーにある「自立運転コンセント」に必要な機器のプラグを差し使用する
 7. 停電復旧時には「自立運転モード」解除→「太陽光発電ブレーカー」をオン→「主電源ブレーカー」をオンの順で必ず元に戻す
- ※メーカーにより操作が異なる部分があるので取扱い説明書にしたがってください

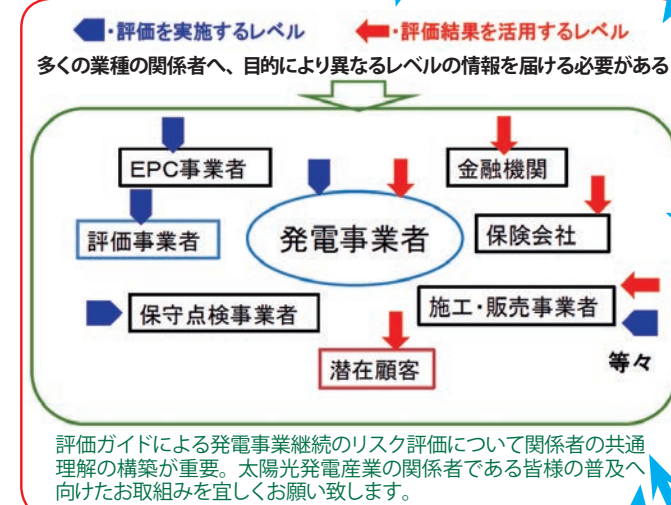
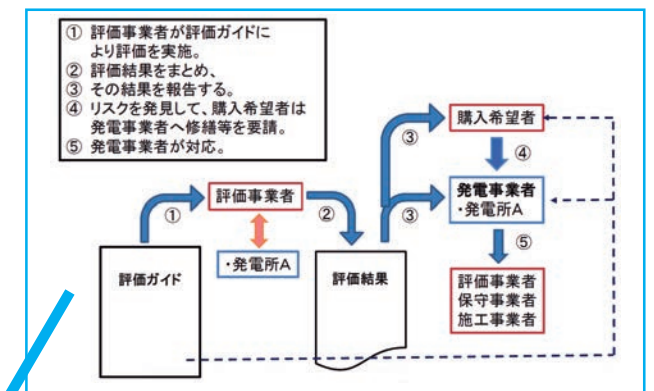
表1 停電時に住宅用太陽光発電の電気を使う～自立運転機能の使い方

セカンダリー等に役立つ評価ガイド

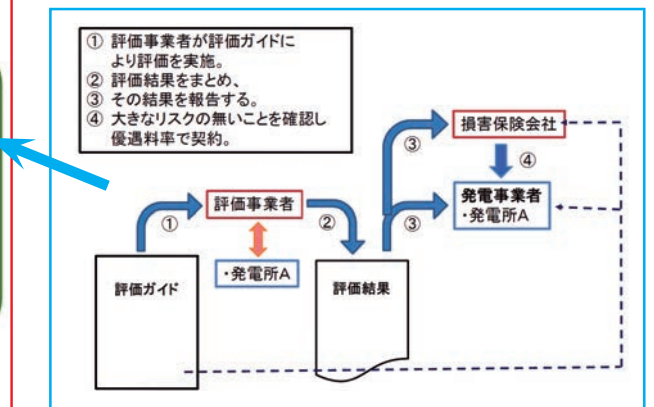
1. 発電事業者が稼働中の発電所を評価する



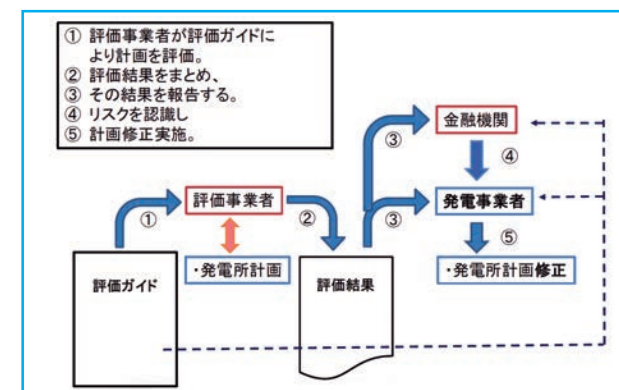
2. 事業の購入希望者が現在の発電所・所有者へ、第三者の評価結果を要求する



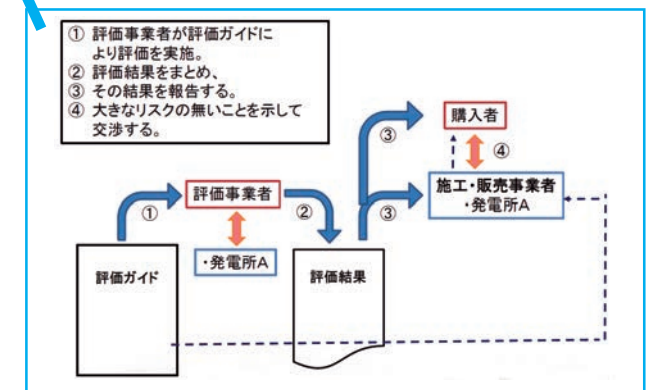
3. 損害保険会社が保険契約時に第三者の評価結果を求める



4. 計画時点で金融機関が事業者に計画の評価結果を求める



5. 完成した発電所へ購入者の過度な修繕要請があり、評価結果を利用して説得



FIT期間中の投資の回収という視点だけで発電所の運営を考えると、主力電源としての長期安定稼働が実現できないという問題があるだけでなく、本来持っているFIT期間後も継続できる発電能力を無駄にし、収益を上げる機会を失うという問題もあります。

さらに分かりやすいのは、発電所を売却しようとした時の買い手の反応で、その発電所の持つリスクを明らかにして適切な価格で買いたいと思うのは当然でしょう。上記の評価ガイドでも、施工記録、竣工検査記録、保守点検記録ほかを確認することになっています。これらの記録は、現状を眺めるだけでは分からない、発電所の前史を明らかにする大切な情報です。

低圧発電所のように小容量だが数が多い発電所の運営の効率化を考えると、いわゆるアグリゲートすることによる大規模化が考えられます。電力だけを集める場合、発電所ごと買い取って運営する場合等、さまざまなモデルがあり得ますが、このようなアグリゲートの必要性からも今後は発電所の流通が促進されると思われます。

上記の通り、保守点検も含めた運用実態を含んだ透明性の高い発電所情報により、適切な市場価格が形成される環境実現に、太陽光発電事業関係者としてしっかりと取組んで参りましょう。

地区会レポート

RE・SDGsから始まる需要家向け自家消費を主題に 熊本・仙台・神戸・名古屋にて各地区会を開催致しました

「全国で進むRE100・SDGs～なぜ企業は選択するのか!?」

エネルギー・マネジメントアドバイザー認定講座講師 古川氏

「自家消費型太陽光発電が需要家になぜ必要なのか～実践セミナー」

(株)横浜環境デザイン 代表取締役社長 池田氏

なぜ需給一体型の太陽光を進めなければいけないのかについてお話がありました。

これからの企業、需要家、太陽光発電の工事をするEPCは世界のESG投資対策に事業の成功の鍵があるということを理解しなければいけません。

2018年10月IPCC特別報告書「1.5℃の地球温暖化」では、気温上昇が予想以上に早く、現在のペースで進むと2030年～2052年の間に産業革命以前より1.5℃上昇すると報告されました。2030年以降は、危機的状況といえでしょう。

再生可能エネルギーは、化石燃料に替わるエネルギーです。化石燃料は、1980年に発見量と算出量は逆転している。化石燃料推定埋蔵量にふくまれるCO₂は約「2860Gt」、COP21で約束した2℃目標で使用できるCO₂は約「565Gt」、実際は2052年までに1/3しか使えません。地球の歴史からみても化石燃料は、産業革命から始まって、私達の子供世代には終わってしまいますが、この後、未来永劫にわたって使っていけるのが、再生可能エネルギーです。ESG投資対策のメガトレンドは、脱炭素化、RE100ということになっていきます。

環境価値は、買うのか、自分で作るのかが大事な鍵になっていくという話をうかがいました。
(九州・近畿北陸・中国四国・東北・中部地区会)

「自家消費のシミュレーションと逆潮流防止システム」

エナジー・ソリューションズ(株) 代表取締役社長 森上氏

自家消費太陽光発電設備のシミュレーションと提案方法について、また、自家消費で電力と連携した場合は逆潮流防止システムが必ず必要である

とのお話もしていただきました。
(九州・東北地区会)

「自社設置・低圧太陽光発電設備 保守点検の勧め～これから始まるセカンダリー市場への準備～」

未来環境エネルギー計画(株) 代表取締役 吉村氏

長期に最大発電量を得るためには、低圧発電所のメンテナンスの必要性があります。失った発電量は取り戻せません。これから始まるセカンダリー市場では、O&Mはかせないというお話をいただきました。
(近畿北陸・中国四国合同地区会)



未来環境エネルギー計画(株) 吉村氏

「産業用太陽光自家消費+蓄電池設置事例」

(株)Eco assist GOGGLE 代表取締役 宅間氏

事例紹介がありました。
(九州地区会)

「太陽光自家消費設備における提案と電気工事事例」

(株)パートナーズ 代表取締役 澤井氏・

ミナト電気(株) 専務取締役 佐々木氏

事例紹介がありました。
(東北地区会)



(株)パートナーズ 澤井氏



ミナト電気(株) 佐々木氏

視察会レポート

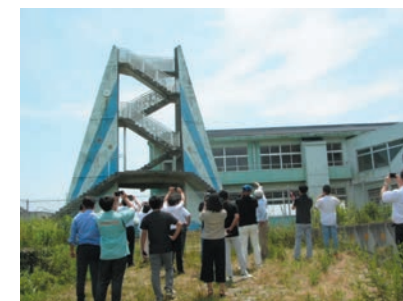
震災から8年…福島県の今を見てきました

2019年8月8日、新エネルギー革命会との共催で「視察会：福島を知り、私たちの未来を考えよう!」を開催し、相馬市、南相馬市、浪江町を訪ねました(2会合わせて16社22名の参加)。

バスが南相馬市に入ると、沿道脇には除染された土が入った黒い袋が山積みとなっている場所があちこちに見られました。その光景は異様でした。このおびただしい量の土はどこへ行くのでしょうか…(高速道路に使用する話もあるとか)。

浪江町に入ると、住宅街でも更地になっている場所が多く、残されている住宅も雨戸やカーテンが閉じられている家がほとんどでした。その中でもガラス戸が開いている家もあり、きっと戻ってこられた方が住んでらっしゃるのでしょう。

沿岸部にある請戸(うけど)小学校は「奇跡の小学校」といわれています。3.11当日、地震発生後すぐに避難は開始され、2キロほど離れた大平山に避難し、100名近い生徒と教員全員は津波から逃れることができたそうです。避難場所の大平山は現在、公園となっており、震災慰霊碑が建立され、一面には霊園が整備さ



もう使われることのない小学校校舎



れていました。

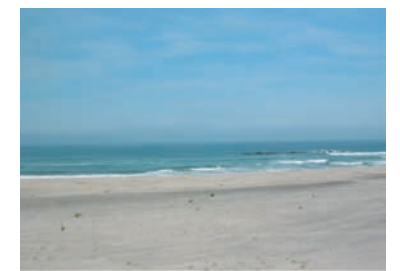
沿道にあるモニタリングポストの数値は低い値を示していても、地面近くは高い数値が検出され、放射能がなくなる日がまだ遠い道のりであることを目の当たりにしました。

今回の視察会を案内していただいたNPO法人野間土(のまど)の志賀勝明(しが かつあき)さんの言葉が印象に残っています。

「人が住めないということは悲しいことだからね」

「自分たちのようなことにはなってほしくない」

請戸小学校近くには、現在高い堤防が築かれ、海を臨むには高い堤防の上に昇らなければなりません。堤防の上から見えるのは青い海と白い



砂浜。何事もなかったような本当に穏やかで美しい風景でした。けれども皮肉なことに右方向には福島原子力発電所の影がうっすらと見え、厳しい現実の世界に引き戻されました。

震災から8年が経ちました。震災の印象は遠くの街に住む私には少しずつ薄れているのが本当のところでした。そのような中、今回視察で浪江町を訪れる機会を持つことができ、大震災を経験された志賀さんから直接お話を伺うことができたのはとても貴重な経験でした。

再生可能エネルギーに携わっている私たちが、被災された地域の方々と交流を持ち、少しでもお役にたてるような可能性ある未来を探っていければと思います。

※浪江町役場のホームページによると、震災前に21,000名を超えていた人口は、町内全域に出されていた避難指示が解除後(帰還困難区域を除いて)の現在、1,100名であると記載されています。

日本PVプランナー協会が「かながわSDGsパートナー」に登録されました

事務局のある神奈川県でも、SDGsを活用して事業を展開している企業、NPO、団体、大学を「かながわSDGsパートナー」として県が登録し、登録企業等の取組事例を県が広く発信するとともに、県と企業等が連携してSDGsの普及活動に取組んでいます。

この取組みの第二期の募集が今夏に行われました。当協会も応募したところ、SDGsの取組内容等の審査が行われ、この度「かながわSDGsパートナー」として登録されました。

現在、第一期(2019年4月登録)も含め、137社が登録されています。

10月3日、横浜開港記念館にて開催された登録式に池田理事長が出席し、認定証を授与されました。



黒岩知事から池田理事長へ登録証が授与されました

電気工事を通して社会および地球環境保護に貢献する

ミナト電気(株) (東北エリア会員)

弊社は1982年に創業以来、宮城県を中心に電気工事を行っております。住宅の電気工事から、マンション、ビル、工場、学校、病院、店舗、スタジアムなどさまざまな建物の電気設備設計施工を請け負ってきました。現場を知らなければよい提案もできないという思いから、社員は全員、職人として現場経験がある有資格者です。

培ってきた電気工事に関する知識と技術を生かし、2010年から太陽光発電システムについて取組み始めました。その根底には二酸化炭素削減を目指し、東北の美しい自然を残したい、未来の世代のためにも持続可能な電源を多く残したいというものがあります。また、2011年の東日本大震災では特に電気のありがたみを実感し、われわれ電気工事会社は災害時において特に地域に貢献すべき役割が大きい



た、2011年の東日本大震災では特に電気のありがたみを実感し、われわれ電気工事会社は災害時において特に地域に貢献すべき役割が大きい



ことを再認識しました。

自家消費型太陽光発電の導入が話題になっているように、これからは一般電気設備と再生可能エネルギー設備が融合し、両方のニーズの充足が求められると思います。弊社はこの流れを想定し、一般電気設備工事と太陽光発電設備工事に取組んできました。AIや5G、EVのさらなる普及も予想され、電気を通してワクワクすることが広がります。「環境保護」と「防災」を念頭に、電気を通して笑顔がひとつでも増えるよう、これからも東北で活動していきたいと考えています。

・会社概要・
社名：ミナト電気(株)
住所：宮城県仙台市泉区高森7-24-3
代表者：代表取締役 佐々木 甚一
創業：1982年
主な事業：電気設備設計施工、太陽光発電システム設計施工

再生可能エネルギー事業に邁進する企業です

アソシエイトエナジー(株) (関東エリア会員)

弊社は2017年に創業した若い企業です。再生可能エネルギー事業を積極的に推進することにより、二酸化炭素の排出削減に寄与していきます。現時点での展開事業は、太陽光発電を主体とし、自社保有と販売。モデルは自家消費・余剰売電・100%売電、立地は屋上と野立て、多様な形態でノウハウ・技術・知識の蓄積をすすめています。ワンストップ・フルサービスが弊社の特徴で、「土地開発、一級建築士による最適な発電所の企画・設計、経済産業省・電力申請業務、基礎土木工事、設置電気工事、メンテナンス(O&M)、きめ細かい発電データ分析、損害保険加入、税制特例や顧問税理士対応、ファイナンス、事業



コンサルティング」まで統合的なサービスを提供しています。

今後の事業展開は、①災害時に太陽光発電所と蓄電池を活用したマイクログリッドの構築、②食糧自給率とエネルギー自給率の両方に資するソーラーシェアリングへの取組み、③多数の人々が自ら参加し購入できる再生可能エネルギーの小口化や証券化、④次世代自動車に対応したEV設備と屋上太陽光発電の組合せ等、新しい事業に挑戦します。

・会社概要・
社名：アソシエイトエナジー(株)
住所：東京都中央区銀座1-27-10 4F
代表者：代表取締役 神谷 一興
創業：2017年
主な事業：再生可能エネルギーの保有・売買・仲介・コンサルティング、再生可能エネルギー（主に太陽光発電所）設置における土地開発・企画・設計・施工・メンテナンス、再生可能エネルギー関連商品や設備の卸業、再生可能エネルギー損害保険取扱い

お客様の最高のパートナーを目指す

(株)盛和 (九州エリア会員)

盛和のプライド

当社は省エネ・再生可能エネルギーのスペシャリストであり、さまざまな施設の建設・メンテナンスを行っています。品質・技術に妥協はしません。お客様の利益にこだわり、お客様の最高のパートナーになることを目指しております。

他を圧倒するトータルなEPC

当社が提供するの、フルサポートのEPC (Engineering「設計」Procurement「調達」Construction「建設」)です。用地の選定より完成まで一貫して対応致します。

最高レベルの製品をご提供

当社では自信をもってお勧めできる商品を取り扱っており、お客様に最適な商品のご提案を行っています。

お客様の大切な資産を守るO&M

お客様の大切な資産を守る信頼できるパートナーとして、価値あるサービスをお客様にご提供いたします。



社長あいさつ (小野 晋太郎)

弊社のモットーは利他の心を持ち、お客様にサービスをすることを第一に考えております。私達が拘りをもって工事を施工し、安心な商品を提供することでお客様も喜んでいただければ、また利他の心にもつながると考えております。できるだけ多くの人に喜ばれるサービスや商品を長く提供し、着実に信用を多くの方から支持されるような会社を目指しております。

・会社概要・
社名：(株)盛和
住所：宮城県宮崎市日ノ出町65-1
代表者：代表取締役 小野晋太郎
創業：2013年
主な事業：太陽光発電設備の販売・施工 (EPC)・太陽光発電設備の保守・運営・太陽光発電設備関連商品の販売・太陽光発電事業コンサルティング・自社太陽光発電所による発電事業 (IPP)・不動産開発事業・各種電気工事・空調工事

コンセプトは「電気のお医者さん」「太陽光発電所の真価の創造」

(株)エコロステーション (中国・四国エリア会員)

岡山県内で、一般電気工事を中心に地域に根差してきた会社から、太陽光発電メンテナンス部門として、特化独立した会社です。エリアは中国四国を中心に、行ける範囲はどこでも対応いたします。

長年、電気工事の会社として培ってきた経験を役立て、皆様のお困りごとに対応していくうちに「電気で困ったことがあればあの会社」といっていただけるようになりました。蓄積された電気に対するノウハウは、太陽光発電所の施工にも生かすことができ、多くの実績を積み、順調に施工件数も伸びています。

われわれがメンテナンスをするきっかけは、自社発電所の管理です。管理にあたって多くの疑問が生まれ、解決方法を探索するにつれ、これは多くの発電事業者にとって役立つ知識であることを認識しました。



太陽光発電所のメンテナンスに関わり勉強していくにつれて、発電事業者の利益・売電収入といったものを守るだけではなく、現在問題

となっている地球温暖化という環境問題に役立つものだ確信し、事業としてのやりがいだけではなく地球環境にも役立ててるという大きなテーマを得ることができました。

岡山県では、記憶に新しい「真備の西日本豪雨」がありました。近くでの災害に際し、太陽光発電や蓄電池といった再生可能エネルギーの重要性を感じました。

PVプランナー協会に加入し、太陽光メンテナンスという事業を通じて多くの人と触れ合い、多くの知識を得て、さらなる成長をしていけると確信しております。地域に、環境に、地球に貢献できる企業として成長していきたいと思っています。

・会社概要・
社名：(株)エコロステーション
住所：岡山県総社市井尻野907-2
代表者：代表取締役 椋木秀典
創業：2018年
主な事業：一般電気工事、太陽光発電事業、太陽光発電メンテナンス事業

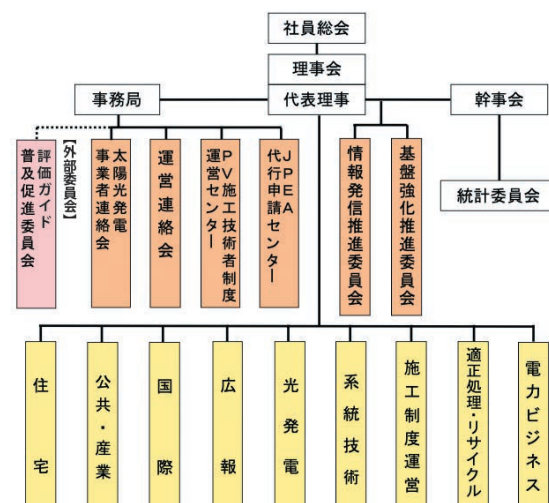
PVネットワーク



ニッポンのすべての 屋根に太陽光発電を！

(一社) 太陽光発電協会 (JPEA)

(一社) 太陽光発電協会は1987年に設立され、以来、太陽光発電システムの普及活動が続けてまいりました。



近年では、
・ JPEA PV Outlook2050 “2050年の黎明” 公開
・ 太陽光発電保守点検ガイドライン公開
・ 地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン公開
・ 太陽光発電事業の評価ガイド公開
などを通じて、業界の適切な発展に取り組んでおります。

また、毎年シンポジウムを開催し、技術およびマーケット動向の最新情報の共有に努めております。

組織図をご覧くださいとわかる通り、各部会では会員企業の皆様が活発に活動されています。協会行事へのご参加、会員としてのご入会をご検討いただければ幸いです。

(一社) 太陽光発電協会 (JPEA)
〒105-0004
東京都港区新橋 2-12-17 新橋 I-Nビル8F
TEL : 0570-003-045
<http://www.jpea.gr.jp/index.html>



経営トップ、我が社を語る／会員企業訪問

「自家消費RPRシステム」

賛助会員 マテリアルエード(株) (関東エリア会員)

私たちマテリアルエードは、創業以来変ることなく、常にお客様の満足だけを追い求めながら、設備のトータルプランナー企業とし事業を営んでおります。

取扱商品といたしまして照明・家電製品・住宅設備機器の販売・卸から、低圧・高圧太陽光発電設備機器、電設資材の販売までを行っております。

このたび、ご縁があり日本PVプランナー協会の賛助会員に加盟し、太陽光発電システム事業でビジネスモデルの確立を目指す【自家消費太陽光発電設備】プランにて電材卸業のポジションで豊富な専業メーカー・仕入先様との橋渡し役として取り組んでまいります。

先のシステムプランといたしまして、高圧受変電設備(キュービクル)の監視・制御システムの構成確認をメーカー・仕入先様と機能性・安全性の確認作業を実施し、皆様の個々のニーズにあったプラン作りのサポートをしてまいります。また皆様との情報を共有させていただき日本PVプランナー協

会発信となる施工技術が標準規格として構築なされると幸甚に存じます。

既存キュービクルの改造にともなうシステム構成部品の提供や、新たに自家消費を計画するキュービクルのご提供等、関連設備商材のシステムコーディネーターとして販売提供までを行い、人と環境の未来に奉仕する弊社は、日本PVプランナー協会の皆様と一緒に取組んで参りたいと存じます。

【高圧受変電設備関連】取扱メーカー
日本電機産業(株)、河村電器産業(株)、日東工業(株)、三菱電機(株)、ネグロス電工(株)、他ケーブル各種

・会社概要・
社名：マテリアルエード(株)
住所：埼玉県さいたま市北区宮原町4-140-1
代表者：代表取締役社長 木村 亨
創業：1995年7月
主な事業：太陽光発電設備・オール電化リフォーム住宅関連設備機器・照明器具・インテリア商品の販売並びに請負工事



もっと点検してほしいから

イーソラメンテ
Solamente

テスター感覚のかんたん操作 ポケットサイズに小型化 故障パネルの位置も特定可能

e ソラメンテ-Z eZ-10
¥160,000- (税抜)
2019年8月5日 発売



電流センサー eA-10
¥67,000- (税抜)
2019年10月 発売予定
※開発中のため、
外観等は変更になる場合がございます。

太陽光パネルの点検はソラメンテシリーズで



ストリング
チェッカー SZ-200
天候の影響をほとんど受けないインピーダンス測定で、パネル故障をストリング単位で特定します。



パネル
チェッカー SI-200
高感度センサーで、パネル表面から発電電流を感知。すばやく正確に故障パネルを特定できます。



オプション SR-200
送電前・送電停止時にパネル点検ができます。SZ-200、SI-200と連携させて使います。



オプション SC-200
CIS 薄膜パネル点検で、PVケーブルを取り外さずに点検できます。SI-200に装着して使います。



太陽光パネル メンテナンスブック

アイテスが全国の太陽光発電所で遭遇した、トラブル事例を現場編として本にまとめました。太陽光パネルの疑問を解決する技術編、太陽光発電所の売電損失についてまとめたオーナーブック、まとめて3冊を無料で進呈いたします。お申込みは、下記 HP から！

www.solamente.biz

太陽光 ソラメンテ 検索



販売代理店
東洋計測器株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-3-12 計測器ランドビル
TEL.03-3255-8035 FAX.03-3255-8076
URL:<http://www.keisokuki-land.co.jp/>

株式会社アイテス
〒520-3031 滋賀県栗東市縄 1 丁目 17-8-501 栗東事業所
製品開発 TEL.077-599-5040 FAX.077-554-6173
URL: www.ites.co.jp e-mail: sales02@ites.co.jp